



市民の皆さまの信託に 応え、全力を尽くします

高浜市議会議長 杉浦敏和

新年明けましておめでとうでございます。平成29年の年頭に当たり、高浜市議会を代表いたしましたして、市民の皆さまに謹んでごあいさつを申し上げます。

昨年の明るい話題としましては、リオ五輪での日本選手の活躍や、ノーベル賞3年連続受賞など、私たちの心を熱くさせるできごとがございました。一方、イギリスのEU離脱、アメリカ大統領選など、想定外の結果も印象強く、国内に眼を転ずれば、熊本地震などもあり、不測の事態への不断の備えが必要であることを改めて感じた年でもありました。

新年からは市役所も新しくなり、先に触れた、近年頻発する自然災害にも備え、災害時の拠点として安心して使える庁舎となります。また、議会を開催する議場も、皆さまが有効活用できる共用スペースとして、多目的に使えるものとされております。

また、少子高齢化を端緒とする介護、福祉を始めとした課題は、当市にかぎらず、さらに顕在化してくるものと思われれます。1月からは、福祉の拠点であるいきいき広場に、子

どもに関する部門が加わるということで、皆さまの人生の各ステージでお役に立つ場となるよう、議会もバックアップしていく所存でございます。

さて、去る11月に、当市初の住民投票が行われました。投票率が半数に満たず、条例に基づき不成立という結果となりましたが、公共施設のあり方をはじめ、高浜市のよりよい将来を皆で求めていくためには、対話を重ね、共通理解を深めていくことの重要性を、これまで以上に強く感じた経験でございました。

私たち高浜市議会は、二元代表制という仕組みの中で、与えられた「均衡と牽制の原理」のもと、市民の皆さまの信託にお応えすべく全力を尽くし、皆さまにいつまでも寄り添い続けたいと存じます。

最後になりますが、この1年が市民の皆さまにとって、健康で明るい幸せな年でありますように心からご祈念申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。